

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	具体的に理念にはあげていないので、理念を見直し、この地域で安心・安全に暮らし、関係性の継続など生活を支えるための理念を検討しなおしたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	申し送りやカンファレンス・ミーティング等、ホーム内の研修において、考え、具体的なケアに結びつけている		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	都市型のホームにて、地域性に欠けるのが一番の悩み。悩み解決にむけて、もう少し回覧板を利用したりし働きかけていこうと思う
	家族会等で、折にふれ説明している。又、来訪者の方にも支障のない範囲で、具体的にわかりやすく説明している		
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	野菜を買ったり、朝の挨拶をしたり、回覧板を回したりとして、あちらからも、声のかけやすい雰囲気(関係づくり)づくりをしている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	町内会に加入している。こちらの行事(ホーム内である訪問や夏祭り等)への参加、又、避難訓練等にも呼びかけている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	人材育成の貢献として実習生の受入は行っている	○	研修等ではホームの成果等伝えているが、地域では、伝えていないので、そのような機会を設けていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	1回/月にある。勉強会の資料にもちいて、自己評価を全職員で読み上げ振りかえっている。結果は、職員にも渡して改善にむけて取り組んでいる		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		○	行政機関の参加がままならない現状である。地域住民や家族の理解はあるので、今後も継続して働きかけていきたい。もっと会議自体が盛り上がる様、他ホームにも、教えて頂いたりして充実した会にしていきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		○	協力が得られにくい、介護相談員の訪問等で関係づくりを継続していきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強会の内容にも取り入れている。又、個別に必要な人にも、少しずつ、少しずつ、繰り返し、繰り返し、説明している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会の内容に取り入れている。折りふれ、こういう場合は虐待につながる？等ケアを振り返って試している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用料や退居となる場合、介護度が重くなる時や看取りの件、医療連携体制等は特に重点をおいて丁寧に説明しているつもりです	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の言動を中心に記録をすることで、そう言わせるもの・そうさせることは何？と職員間で考え、共有し、ケアに活かしている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームで手作りしている広報誌に近況報告をコメントして毎月の請求書と同封している。又、金銭出納帳は、その都度で確認しサインを頂いている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族は苦情や意見はいいにくいという事を職員は理解して、こちらから最近の状況等を声かけして、言いやすい雰囲気づくりをしている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、日頃の職員との会話より、要望・意見・不満につながる事等を、拾い出せるようにと時間工夫をしている。又、運営者は、個人面談を設ける等している	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の身体変化にも対応できる様に、職員数にも余裕をもって、シフトを組んでいる	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者にとっては職員も環境の一因。ダメージを最小限におさえる為にも、入居者との馴染みの関係を大切に管理者と話し合い工夫している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	事業所外の研修には、なるべく偏らない様に一覧表を作成して参加をうながしている	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	市内の連絡協議会にも入り、研修等に参加し質の向上に取り組んでいる	○ 交換研修の話がでているので具体的にして実現していきたい(職員も他ホームの見学を含めた研修を望んでいる)
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	職員の親睦を図るために職員旅行をしている。コーヒーを飲んでいき抜きしたり、職員同志の会話を楽しめる等、時間や場所の工夫はしている	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	職員は各自、自分にあったそれぞれの目標をもち、資格習得をしている。そのためにできる範囲のこと(試験前後の休みの提供)を支援している	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	事前に面談し、入居者の生活状況や身体機能について把握し、ホームでどのように過ごせるか検討している	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	時間をかけて家族と向い合い問いかけ、言葉かけに工夫して、語って頂けるように傾聴している	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の思いを確認しながらサービスの利用につなげていけるようにしている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	先ず見学して頂きます。見学の時間も皆と一緒にお茶を飲んでいる時間に合わせて来て頂いて、本人の様子をみながら家族と話し合っている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その人にあつた声かけ、スキンシップ・ジェスチャー、そつと触れあい寄り添い、ゆったりと歌を唄ったりして共に過ごし、会話の中から学んだりしている。また、共に台所仕事・掃除・洗濯をするときは、健康管理に努めながら料理等、教えて頂く。	○	個々の生活歴からもっとできることを見だし本人を知り、人生の先輩として尊敬し学んでいきたい。支えあいたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	カンファレンスに参加して頂き、本人を支えていくための話し合いをして喜怒哀楽を共にし良き関係を保つ。	○	ご本人・家族と職員でゆっくりとお茶を飲む機会も増やしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	広報誌、面会時に状態報告、生活の様子等、お知らせする。一緒にお茶をおすすめする。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	全てにおいてできるだけホーム入居前と同じように生活空間が移動しただけのようにと考えて、かかりつけ医・行きつけの美容院等今まで通り利用して頂いている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	孤独にならないように相性の合う方、同士に声かけしてお話できる雰囲気作りの支援、また、気の合う者同士のテーブルの位置工夫。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	いつまでも声をかけやすいようにこちらから訪問したり、電話でも相談にのったりしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望を引き出せるように、会話・表情観察に努める。外出・買い物等希望・意見を中心に計画。一緒に行動し買いたい物を把握し支援。台所・食材切りの好きな方、色塗り・折り紙の好きな方、できる方への把握支援。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	農作業されていた方は菜園の手入れ、主婦の方は台所食材切り、趣味として、想像画、短歌作り、塗り絵、書道、華道、折り紙等、把握に生かしている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	全身状態観察、バイタルチェックしながら、本人のできること、したいこと、見たいもの(テレビ番組聞いて)、本(料理・動物)、台ふき掃除・食材切り、配膳下膳、洗濯物干し・たたみ。整理整頓、外出散歩等把握。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々入居者の状態・思いを観察し会話しながらズレが生じていないか調整したり、気づきや意見をこまめに聞き、日々記録をおこない、できること・したいこと・望まれること・困っていること話し合い、カンファレンス参加を家族に前もって連絡し参加して頂き、面会時にも望まれることを聞いて作成する。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回、カンファレンスをおこない、見直し評価している。日々の状態変化時、前倒してカンファレンスを開催し、見直し、追加・修正している。	○	RH通院されている方は、理学療法士の参加の呼びかけをしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルがあり、生活状況・本人の言葉・身体変化・受信結果・排泄表・事故時のヒヤリハット記入して、実践見直しに活かしている。また、生活日誌・申し送り簿等にも記入して計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や本人の都合により通院はホームで対応をしている。医療連携体制も充実している (定期的な2回/1月の訪看・看取り・電話での連携等)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	数少ない機関しかないが、入居者の要望に応じて、よりよく豊かな生活が送れるように支援している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている		○	当ホームだけでかかえ込んでいることにつながっている点があるような気がする。今後、必要に応じて外部のケアマネとの連携や介護保険外の生活支援に結びつくサービスを検討していきたい
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		○	地域包括支援センターの活動が今後明確に、なおかつ、活用になることなので、関係が深まる努力をして、お互いに協力して地域の中で暮らす人々を支えていきたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の主治医が決まっいて相談できる環境にある。緊急時の協力医療機関が近くであり、すぐに対応できる。訪問看護ステーションより、月2回訪問して頂き、主治医との連携を密にとれる支援。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉のトーンを高くせず、さりげない言葉かけ・しぐさで介助。プライドを傷つけないような態度をおこない、本人の返答能力に応じた質問方法をする。尊重尊敬した言葉遣いで傷つけないようにしている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その人に合った声かけ・触れあい・会話をおこなっている。洗濯物干し・取り入りはさりげなく置いたり、食材等をリビングのテーブル(目のつく場所)に置いてフォロー。また、書道具等も目のつく所に置くなどして気づいていただけるように工夫している。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースを守り共に行動し共に楽しむようにしている。ゆったりとしたペースを尊重。食事の時もゆっくりと食べて下さいねと声かけする。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出・受診時はコーディネートし身だしなみを整え、望みの方には化粧の手伝いをしている。入浴・浅野洗面時は髪をいたり化粧水をつけたりしている。近隣の理美容院へ行きたいときは一緒に行ったりしている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立相談をして、共に買い出しに行く。(その前に、ある食材をお見せして入居者と話し合う。メニューの表出)食材切り・盛りつけ・配膳・下膳・台ふき・食器洗い等、さりげなく声かけして共に会話しながらおこなう。体調の良い方は、料理の方も共に作業して楽しむ。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	それぞれの個々に合わせて栄養食品の取り入れる。手作りだんご・トマトジュース・漬け物等、お好みに応じてお出しする。糖尿・高血圧の方には考慮する。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用して、タイマー誘導・声かけし、自立へ向けている。尿取りパット・オムツの使用を減らす努力をしている。ヨーグルトを手作りしたり、繊維質の多い食材(カライモ・ゴボウ・バナナ・フルーツ等)を取り入れて便秘を予防し気持ちよく排泄に心がけている。時にウォッシュレット使用して快便につなげている。暖かいタオルで清拭徹底。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	全身状態観察、体温血圧の変化ないとき、気乗りの状況把握に心がける。タイミングを見図り温度調節して再度声かけしたり、希望に合わせてくつろいだ入浴を支援。拒否のとき、清拭足浴の代用。浴室が隔てられているので、マンツーマンで会話しながら楽しめる一時である。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中、適度な環境作り、音楽・作業・室温・散歩・照明など本人に合わせた余暇時間の工夫。寝具を干したりして心身を休める場面作りに務めている。個別に会話しながら休憩も取り入れ昼寝の声かけもする。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	台所・掃除・洗濯等、出番を見いだせるように支援。行動を共にしながら話題を弾ませる。行事(年間)の時は声かけをする。リビングにあるオアシスに自由自在に生けていただき、花の匂い、季節を感じていただき、話題につなげている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の力量によってお金を持って買い物・髪染め・パーマに行く方もいれば、財布がないと言われる方は保管場所に相談援助している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自ら買い物・絵画展・コーヒーのみに行きたいと言われた時には、一緒に行動・対応している。散歩したいと言われたとき、ホーム周辺・ドルフィンポート等に行き一時を過ごす。	○	意思表示されない方は、伺いをたてて重いが叶うよう努めたい。これから気候もよくなるし、出来る限りのお出かけ支援・公園散歩等。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	3~4月にかけては、お花見を計画し実施している。7月はおぎおんさあ、10月は秋の遠足、11月はおはら祭り・町内パレードの見学、1月は初詣、2月は太鼓大会。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも自由に電話が使用できるように届く場所に設置。個人の能力に合わせて、かけ方・取り方の支援。手紙を自ら書かれた時、郵便局に一緒に行って切手を貼りポストへ投函するなど見守りをする。出来ないところを支援。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問されたときは手を休め、笑顔で挨拶。お茶とお菓子、また、お好みをお聞きしてコーヒー等お出して自室で過ごしていただいたりする。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠をしない。身体拘束委員を立てて話し合っている。勉強会にも取り入れている。不穏時は散歩等にて気分転換を図り、フラッと出て行かれる時は一緒に出かける。即対応し見守る。また、職員間で拘束の体験実習をおこない、心身共に拘束されることの痛みを学び取り組んでいる。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠はしていない。外に出かけて行かれる時は、止めないで職員は財布と携帯電話を持って共に行動している。危険防止の配慮として見逃さない様にチャイムで工夫	○	頻回に出入りされ、落ちつれない時は、最後の手段としてエレベーター点検の用紙に頼っている現状であるので検討していきたい
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	申し送り、介護記録等は、リビング和室で入居者の動きが把握できる様に安全確認に努めている。常に見守りやすい場所において様子観察し、場を離れる時は職員同士声かけあって安全を守っている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	スクラップされる先は丸くなった物に変えて、いつでも、どこでも持ち歩き出来る様にしている。ベランダに出て滑らないように底の安定したスリッパを置いている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリ・ハットに基づいて転倒などの事例を行って事故防止に取り組み、火災予防の避難・防火訓練を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急マニュアルはあるものの、緊急時にあわててしまう。	○	救急マニュアルがあるが一部なので具体的に起こりうる救急法を全職員が実施出来るように勉強会で広めていく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練をして消防士より詳細に指導を受けている。近隣に呼びかけて、協力を得られる日頃のコミュニケーションがとれている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ケアプランを説明する時に体調の変化、全身状況等説明する。訪看記録等から情報収集して、起こりうるリスク等家族と話し合っている。	○	面会に見えたとき、日常生活の気づき、記録野中から収集した事をお伝えしていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に入居者の表情・顔色いつもと違う様子の早期発見体調変化に留意し、バイタルチェックして、速やかに病院受診、訪看への連絡対応している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	月2回薬剤師訪問により指導をうけている。個人ファイルに処方薬表を綴って誰でも副作用、用法用量を理解できるようにしている。低血糖発作など特に気をつけている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	腹部マッサージ、体操など少しでも体を動かす様にしたたり、排泄チェック表を見て便秘予防に果物、海草など食事に取り入れる。水分(冷たい水・牛乳)にも気をつけている。		天気が悪いと外出できずに運動不足となるのでなるべく屋外散歩に取り組んでいきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、力量に応じて声かけできない所のお手伝いをしている。義歯の方は、ホリデントに入れるようにお手伝いしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>野菜を多く取り入れるように心掛けている。個人の身長・体重を考慮して量を考えている。10時15時のお茶にはおかわりがしやすいようにテーブルにキュウスをおいている。</p>	<p>夜間も個別に自由に飲めるように湯冷まし7ペットボトルにに入れて提供している。</p>
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルあるが協力医療機関より情報収集している。インフルエンザは全員予防接種している。</p>	
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>食事の前は手洗い・うがいの励行を実施している。食材は毎日買い物に行き、その日の内に調理している。台所のまな板や布巾はハイター消毒を行いそうじもこまめにしている。</p>	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>一般の方との共有マンションであるので、ホームにご用のある方にはわかりやすいように案内板を設置して出入りしやすいようにしている。</p>	
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングのテーブルに季節の花を飾ったりして季節感を取りしれている。ホール居間は自由に動ける広さがあり、家庭的な雰囲気有している。浴室・トイレは適度な照明であり、手すりもある。安全に居心地やすい工夫を心がけている。</p>	
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室にソファがあり、その時々利用ができる。そこで気のあった者同士又職員とゆったりと思いいに過ごされている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人らしい部屋づくりに心がけている。使い慣れた家具・洗面用品・装飾品が持ち込まれて安心して過ごされているように感じる。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気温を考慮しながら空気の入換えに心がけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	要所要所に手すりの設置、浴槽にはすべりどめマット使用、便座にはウォッシュレット使用している。流し台が高いので椅子に座布団利用して使いやすいように工夫している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレがわからない等混乱される方には、トイレと記したり→でわかりやすいようにしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	裏庭に野菜を植える。種まきから共に行い草取り、収穫を楽しむ。ベランダの花・野菜を入居者と植えて、水やりを毎朝している。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

チームワークもとれていて、入居者・家族との信頼関係も図れているのではないのでしょうか・・・健康管理・転倒防止に気をつけながら個々入居者のできる事したい事望まれる事